

# ピース・ウイング長崎 会報

# へいわ

# 142号

■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 通常理事会・定時評議員会を開催
- 平和案内人全体会を開催
- 「アジア青年平和交流事業」企画募集・公開コンペティションのお知らせ
- 「秋月グラント」助成事業募集
- 平成25年度 事業報告
- 祈念館だより(被爆体験記朗読ボランティア「永遠の会」、原爆死没者名簿の風通し、スペインとのピースネット、原爆写真展「未来への遺産」のお知らせ ほか)
- TOPICS! (平和の灯、被爆者健康講話予定、被爆体験講話者(継承部会員)の募集 ほか)



5期生を加えて全体会で活動計画を話し合う平和案内人の皆さん(2ページに関連記事)

# 通常理事会・定時評議員会を開催

長崎原爆資料館平和学習室において、5月23日に通常理事会、5月30日に定時評議員会が開催されました。

通常理事会では、平成25年度の「協会事業報告」、定時評議員会では、平成25年度の「協会決算」が承認され、また、人事異動に伴う新任の理事・監事と評議員が選任されました。

平成26年5月30日以降の理事・監事、評議員の方々は次のとおりです。



通常理事会の様子

- 【理事24人】 (理事長) 横瀬 昭幸 (副理事長) 船山 忠弘、朝長 万左男 (敬称略)  
(理事) 小笠原 一弘、小川 隆明、神近 眞智子、川副 忠子、塩田 淑文、**下窄 英知**、  
未永 浩、谷口 稜曄、中嶋 照次、中島 正徳、中村 明俊、中村 キクヨ、中山 明子、  
馬場 宣房、深堀 好敏、本田 貞勝、正林 克記、升本 由美子、**三浦 一太郎**、  
芳川 孝太郎、吉田 睦子
- 【監事2人】 佐藤 宏文、**山本 博貴**
- 【評議員26人】 尾崎 正明、荒田 忠幸、安藤 洋章、内田 伯、梅山 賢一、小澤 明、金富 竹志、  
熊江 雅子、**小出 浩樹**、小島 達也、財前 博、芝野 由和、**下園 和仁**、  
長尾 保子、**野瀬 弘志**、林田 克己、平川 茂子、船本 貴之、堀本 進、牧 清、  
松尾 博臣、**松本 健吾**、山口 淳也、山口 八重子、山本 正興、渡邊 弘
- ※太字は新任の理事・監事、評議員です。

## 平和案内人全体会を開催しました!

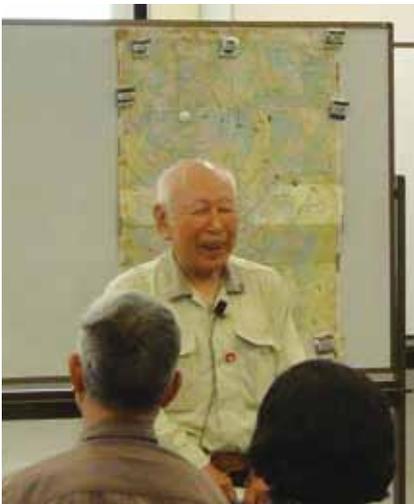
4月27日、平成26年度第1回目の平和案内人全体会を開催しました。

昨年度、育成講座を修了し、今年度から活動を開始する第5期生平和案内人を含めて行う初めての全体会でしたが、これからの活動について活発な話し合いが行われました。

また、話し合いに先立ち、当協会の継承部会員中、最年長である尾畑正勝氏の被爆体験講話を行いました。尾畑氏は今年の6月に長崎市から京都市に転居されるため、講話を聞けるのも最後となります。

今回は被爆体験とともに、満州での通信兵としての経験や母の懇願で帰国したことなどもお話しいただきました。

尾畑氏の感情表現豊かな講話に平和案内人の方々は真剣に耳を傾けていました。講話後には多くの質問がありました。尾畑氏はその一つ一つに尾畑氏独特の軽快な語り口で答えられていました。



平和案内人全体会で講話する尾畑さん

### 平和案内人全体会における被爆体験講話 ～96歳は語る～

【講師】 尾畑 正勝氏 大正6年(1917年)12月生まれ  
(被爆当時27歳、継承部会員で最年長)

6月に長男ご夫婦が住む京都市へ転居されましたが、今後も、継承部会に所属するとともに、京都でも体験講話を続けていかれるご意向です。

【プロフィール】 爆心地より南に1.5kmの三菱造船所幸町工場ひらめで作業中に被爆。突然見たこともない光が閃き、床に腹ばいになると同時に爆発音がし、崩落した屋根のスレート瓦で背中にけがをした。外で作業していた同僚は全身にやけどし三日後に亡くなったと聞いた。私も外にいたらどうなっていたか分からず、工場内にいたために助かったと思う。

# アジア青年平和交流事業

## 「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム」 企画募集中!

当協会が実施する「アジア青年平和交流事業」では、地元長崎の若者の発想を取り入れ、その若者自身による自主的・継続的な取り組みを形作っていくという観点から、公開コンペティションで選抜した企画に対し運営資金を提供して事業を実施してもらいます。

これまでも若者ならではの柔軟な発想で、国際性の豊かな特色ある事業が実施されました。今年度も次のとおり企画を募集します。たくさんの応募をお待ちしております。

1. 募集期間：平成 26 年 6 月 10 日（火）～ 同 9 月 5 日（金）
2. 募集対象：県内の大学・大学院、高専、高校、専門学校の学生、生徒
3. 募集テーマ：自分たちが考えるアジアの若者同士の  
国際・平和交流プログラム
4. 募集コース：Aコース プログラム実施費用が 5 ～ 15 万円のもの  
Bコース プログラム実施費用が 15 ～ 30 万円のもの

### 公開コンペティション

【日時】：平成 26 年 9 月 14 日（日） 13:30 ～

【場所】：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 地下 2 階 交流ラウンジ

- 【内容】：①応募者によるプレゼンテーション  
②審査員及び一般来場者との質疑応答  
③審査員による審査  
④表彰式

< 昨年度の事業の様子 >



長崎外国語大学国際交流サロンチーム  
「Sweets Champion!」



活水高等学校平和学習部  
「ふりそでプロジェクト」

募集内容や公開コンペティションについてのお問い合わせは、  
協会 HP (<http://www.peace-wing-n.or.jp/>) 又は協会事務局 ☎ (095)844-9922 まで。

## 秋月グラント助成事業募集中!

当協会創始者の故・秋月辰一郎氏の名前を冠した「秋月グラント」では、被爆体験の継承や平和意識の高揚を図るための活動などへ財政的な支援を行っています。

今年度実施する事業について、申し込みを受け付けていますのでお役立てください。

対 象：次の①から④の平和活動を企画・実施する団体、個人を基本とします。

- ① 被爆・戦争体験を後世に伝えるための活動企画
- ② 国内外において、国際的な平和交流を目的とした新規の活動企画
- ③ 調査研究・資料収集・教育などの幅広い平和啓発のための新たな活動企画
- ④ その他、被爆体験の継承や平和意識高揚のための活動企画

助 成 額：全体事業費の 3 / 4 以内の金額（20 万円を限度）とし、事業内容によって決定します。

助成額の支給：事業が終了し活動報告が提出された後、支給します。

申 込 期 限：平成 26 年 11 月 28 日（金）。なお助成額が予算額を超えた場合は、その時点で締め切ります。詳しくは協会事務局 ☎ (095)844-9922 まで。

# 平成25年度はこのような事業を行いました!

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与し、平和への認識をさらに深めてもらうために、皆さまのご協力をいただきながら、次の事業を実施しました。

## I 平和推進事業

### 1 発刊事業 (1,285,668 円)

会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」、会員加入リーフレット等の作製・発行

### 2 啓発事業 (2,213,866 円)

#### 被爆体験講話者の派遣

平成25年度 1,312件 169,989人受講  
内訳 小学校542校、中学校435校  
高校241校、一般94件

被爆の実相を伝えるため、修学旅行生や市内の小・中学校などで被爆体験講話を実施しました。

#### 県外被爆体験講話(原爆展を含む)の開催

【平成25年度開催 14市区町村】

秋田県秋田市、福島県郡山市、埼玉県和光市、千葉県浦安市、千葉県千葉市、東京都文京区、神奈川県藤沢市、石川県金沢市、岐阜県北方町、大阪府枚方市、大阪府八尾市、兵庫県宝塚市、大分県大分市、宮崎県日向市

原爆の問題について触れる機会の少ない県外の方々に被爆者の体験講話を交え、被爆の実相や核兵器の恐ろしさを知ってもらうために、県外の市区町村、長崎市及び当協会の共催で開催しました。

また、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」に講話者を派遣し、県内2市及び九州内の3大学において講話を行いました。



藤沢市での講話の様子

#### 原爆被災写真パネル、ビデオ・DVDの貸し出し

平成25年度 パネル16件 ビデオ148本

#### 講演会の開催

##### 「はだしのゲンを語り続けて」

開催日：平成26年2月9日  
場所：長崎原爆資料館ホール  
講演者：神田香織氏（講談師）  
入場者：約250人



#### 国連軍縮週間行事

国連憲章の発効記念日である10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせ、平和意識の高揚と平和問題の認識を高めるために、市民の皆さまのご協力のもと「市民のつどい」を開催しました。

開催日：平成25年10月26日  
場所：長崎原爆資料館階段下広場  
行事：戦時食コーナー、エコ風船コーナー、折り鶴コーナー、音楽演奏コーナー、原爆被災写真展、ポップコーン・綿菓子コーナーなど



### 3 調査研究費 (181,110 円)

広島市で開催された「国際平和シンポジウム」などに協会役員、職員を派遣しました。

#### 4 育成事業 (5,336,235 円)

##### 部会活動

- 継承部会      ○写真資料調査部会
- 国際交流部会   ○音楽部会

市民の幅広い参加を求めながら、会員が市民とともに平和意識を高めるために、協会の各部会が自主活動を行いました。

##### アジア青年平和交流事業

県内の大学・高校生が提案した平和に関する企画を公開コンペティションで採用し、若者自身で事業を実施しました。

(カッコ内は事業名)

- 活水高等学校 平和学習部 (ふりそでプロジェクト)
- 長崎外国語大学 (国際交流サロンチーム「Sweets Champion！」)



##### 平和案内人派遣・育成事業

修学旅行生や観光客を対象とした資料館、祈念館や碑めぐりなどのガイドとして、延べ3,515人が活動しました。

平成25年度活動実績

		利用件数	利用者数	活動人数(延)
資料館	常駐	2,311件	10,403人	1,428人
	予約	109件	4,304人	450人
碑めぐり		308件	16,820人	1,637人

また、資料館や祈念館を訪れる観光客の増加に備えて、第5期生平和案内人(36人)を育成しました。

##### 平和活動支援、秋月グラント

協会の活動趣旨と一致する音楽祭、シンポジウム及び外国人弁論大会などの活動や、被爆の継承や平和意識高揚のための各事業へ助成しました。

#### 5 平和推進事業に係る人件費 (18,293,049 円)

#### 6 平和推進事業に係るその他諸経費 (3,133,660 円)

### II 長崎原爆資料館運営事業 (15,728,371 円)

(原爆資料館観覧料徴収及び受付案内業務)

### III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (4,366,043 円)

(原爆資料館図書資料整理業務)

### IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 (202,952,393 円)

(遺影の登録、証言等の収集・映像制作、海外原爆展、被爆体験記朗読ボランティアの育成、平和ボランティア育成外国語講座、ピースネット、長崎国際平和映画フォーラムの開催 など)

## V 収益事業

(売上金額 20,609,186 円)

原爆・平和に関する図書や平和意識の啓発のためのグッズなどを原爆資料館のミュージアムショップで販売しました。



## VI その他管理運営に係る費用

(2,426,321 円)

法人の事業を管理するため委員会、理事会、評議員会等を開催する費用等に支出しました。



## 祈念館だより

被爆体験記朗読ボランティア  
「被爆体験を語り継ぐ  
永遠の会」が  
本格的に活動を開始しました。

追悼平和祈念館では、被爆体験の新しい継承の形として、被爆体験記の朗読に着目し、平成24年4月に「被爆体験記朗読ボランティア育成講座」を開講しました。

その後2年間にわたってこの朗読ボランティアの育成を行ってきましたが、今年3月にすべての講座が終了し、4月から67人が被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」のメンバーとして本格的な活動をスタートしました。

今後は、追悼平和祈念館内で開催する定期朗読会、市内小中学校への派遣や11月に予定している長崎国際平和映画フォーラムでの朗読劇上演などを通じて事業の基盤づくりを進めるとともに、新規派遣先の開拓を図っていきます。

また、永遠の会メンバーは、全員が意欲に満ちており、講座終了後も月1回の定例全体会や自主練習会などで日々、朗読技術の向上に努めています。

7月の定期朗読会は、次のとおりとなっておりますので、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

日時：7月13日(日)14時～16時

会場：追悼平和祈念館交流ラウンジ

内容：「紙芝居&ひとり朗読」

ゲスト：ピースバトン、紙しばい会

※入館無料、予約不要です。

なお、8月以降の定期朗読会や朗読劇の詳細については、別途お知らせいたします。



「永遠の会」内覧会の様子(4月26日)

## 原爆死没者 名簿風通し

5月23日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿の風通しが行われました。

長崎市職員により一冊一冊整然と並べられ、11時2分に黙祷が捧げられた後、職員が一枚ずつ丁寧に名簿をめくり湿気を払いました。

風通しを終えた名簿は、祈念館の追悼空間の名簿棚に納められ、8月9日の平和祈念式典に奉安されます。



名簿には長崎原爆で亡くなった16万2083人の氏名や死亡日、享年が記され、平成25年8月9日の時点で163冊(うち1冊は白紙)にのぼります。

また、広島原爆で亡くなった長崎市民ら12人分を記した「長崎市広島原爆死没者名簿」も1冊保管されています。

## 世界とつながる ピースネット

### スペインとのピースネット開催

5月29日、インターネット会議システムを使用し、スペイン(リーバス・バシアマドリッド市)とのピースネットを実施しました。リーバス・バシアマドリッド市との交流は、4回目となります。

長崎会場は、高校生1万人署名のメンバーら20人が参加しました。

スペインからは、地元の高校生が核兵器に関するビデオやスライドを作成し、発表しました。

また、当協会継承部会員の奥村アヤ子さんが被爆体験を語り、来場者は、真剣なまなざしで耳を傾けていました。

今後もピースネットを通して、被爆体験と平和希求の思いを世界に発信していきます。



ピースネットの様子  
(5月29日・追悼平和祈念館研究室)



# 被爆者健康講話始まる

## 第1回は福島県川内村から中継

追悼平和祈念館が平成20年6月から毎年開催している「被爆者健康講話」が今年も始まりました。

今年も昨年度と同様に、第1回は「長崎大学・川内村復興拠点の1年間の活動と川内村の現状」と題して、福島県川内村の長崎大学・川内村復興推進拠点と追悼平和祈念館とを中継で結び、同大学高村教授と折田保健師に、東日本大震災から3年を過ぎた現在の川内村の現状とその後の活動についてお話しただきました。また、福島会場には、先頭に立ち復興へ向けて尽力されている遠藤村長にも出演いただき、長崎会場の参加者へごあいさつをいただきました。

被爆者の方を中心として、健康維持に役立つ情報の提供を目的にスタートした「被爆者健康講話」は、2回目以降は、追悼平和祈念館を主会場（長崎会場）として、五島市に中継会場を設けインターネットで両会

場を結んで同時中継講話を行いながら実施します。

昨年度までの6年間で両会場を合わせ延べ1800人を超える皆さまにご参加いただいている「被爆者健康講話」は、今年も長崎大学の先生方のご協力を仰ぎながらより良い、充実した内容をご紹介しますよう、努めてまいります。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。



**※参加無料です！**

日程：6月～来年3月までの毎月1回

原則第3木曜日（全10回）

午後2時から3時まで

※ただし、五島会場は全9回

### 原爆死没者の遺影・氏名登録及び体験記募集のお知らせ

追悼平和祈念館では、原爆死没者の方の氏名や遺影の登録（原則遺族の方から）を募集しております。また、被爆の実相を後世に伝えるために、被爆体験記も募集しております。皆さまのご協力をお願いいたします。

問合せ：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館  
☎ (095) 814-0055

### 平和祈念式典は祈念館でも中継します

8月9日開催の平和祈念式典は、追悼平和祈念館でもご覧になれます。当日は式典会場と地下2階の交流ラウンジを中継で結び、式典の様子を放映します。

### 追悼平和祈念館の開館時間について

追悼平和祈念館は8月7日から9日まで、開館時間を午後8時まで延長します。約7万個の追悼の明かりがともる地上部の水盤も午後8時まで開放していますので、ぜひお立ち寄りください。

### 原爆写真展が開催されます 「未来への遺産」

写真資料調査部会では、毎年原爆写真展を開催しており、今年は国の文化財として登録された長崎原爆遺跡4ヶ所の写真を中心に展示します。爆心地一帯を写した大型パノラマ写真も見どころの一つです。ぜひお立ち寄りください。



とき：8月1日（金）～31（日）  
ところ：追悼平和祈念館 交流ラウンジ  
問合せ：長崎平和推進協会 写真資料調査部会  
☎ (095) 844-9922

## 「平和の灯」を一緒にともしませんか？

小・中学生や市民が平和への願いを込めて作った約5,000本のキャンドルに灯をともし、平和を祈るコンサートを開催します。  
キャンドルにメッセージやイラストを描くこともできます。

と き：8月8日（金）午後6時45分～8時30分  
ところ：平和公園内 平和の泉  
出演者：長崎県立盲学校、城山小学校、山里小学校、江平中学校、NAGS、長崎県オペラ協会、十八銀行混声合唱団  
※コンサート内容が一部変更となる場合がございます。  
問合せ：長崎市被爆継承課 ☎ (095) 844-3913



## 被爆体験講話者（継承部会員）を募集しています！

協会では、原爆被爆の実相を継承し、核兵器廃絶や世界平和を目指すために、継承部会員による「被爆体験講話」を実施しています。

被爆者が高齢化する中、被爆者自身による講話の重要性は増すばかりです。

協会では、継承部会に加わっていただき、市内の児童・生徒や修学旅行生など多くの人々に対して、ご自身の被爆体験や被爆者としての生き様などを語ってくださる方を募集しています。

問合せ：平和推進協会事務局 ☎ (095) 844-9922



## 平和推進協会の会員になりませんか？

協会では、被爆体験講話や平和案内人の派遣・育成などの平和活動を支えていただく会員を募集しています。核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次世代に伝え、核兵器の廃絶を目指して、一緒に平和の輪を広げませんか？

### 【年会費】

●維持会員(個人)3千円以上、●賛助会員(団体・個人)1口1万円、●学生会員1千円以上

問合せ：平和推進協会事務局 ☎ (095) 844-9922



世界の核弾頭の数 (2013年11月1日現在)

ロシア	米 国	フランス	中 国	英 国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
~8,500	~7,700	300	250	225	80	100~120	90~110	<10	~17,300

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。  
今年度まだ会費を納めていただけていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

### 会費納入のお願い

- ◎ 匿名 千百三十六円 (敬称略)
- ◎ 匿名 六千円
- ◎ 池田 早苗 三千円
- ◎ 山中 弘幸 五千元
- ◎ 福田 葉子 五万円
- ◎ 岡田 郁代 十万円

### 寄付者紹介

ありがとうございます

- ◎ 維持会員 1,150人
  - ◎ 賛助会員 148人
  - ◎ 学生会員 10人
- 平成26年6月13日現在

### 会員数報告

賛助会員(法人・団体)の一覧を協会ホームページに掲載しています。ご支援・ご協力誠にありがとうございます。